

平成22年5月24日

浜田市議会議長 牛尾 博美 様

平成22年度浜田市議会福祉環境委員会行政視察報告

下記のとおり視察を行いましたので、その結果を報告いたします。

記

- 1 期 日 平成22年4月19日（月）～21日（水）
- 2 視察先 東京都稲城市、宮城県石巻市
- 3 視察者 委員長 三浦一雄 副委員長 三浦美穂
委員 芦谷英夫、三浦保法、大谷弘幸、川神裕司、原田義則
中村建二、美浦美樹

稲城市（20日（火）10時～11時50分）

【説明 石田福祉部長、榎本高齢福祉課長】

○介護支援ボランティア制度について

(1) 65歳以上高齢者が介護支援ボランティア活動を行った場合、その実績によって評価ポイントを付与し、評価ポイントに対して、評価ポイント転換交付金年間上限5,000円を交付することによって、介護保険料の負担を軽減するもので、平成19年9月1日から始めた。

(2) ボランティア活動は、介護保険対象施設、地域支援事業（介護予防事業）など4事業で行うもので、介護事業所での配膳・下膳、洗濯物整理など7種類の活動をあらかじめ市長が指定している。



稲城市会議室において

(3) 介護支援ボランティア加入者数は、平成19年度から21年度末で381

名で第1号被保険者の約3%、交付金交付額は19年度分453千円、20年度分709千円。

○介護予防推進モデル事業について

- (1) 4か所の地域包括支援センターで行っており、①高齢者巡回訪問、②地域ケア会議、③高齢者の集まる場づくり人づくり、④地域ボランティア・自主グループの育成、⑤介護予防・健康づくりの推進、などを柱として事業を行っている。
- (2) 介護予防事業として特定高齢者5%647人を把握し、筋力向上トレーニング、認知症予防などの介護予防プログラムにより実施している。
- (3) 市、民生委員、地域などが一体となって、高齢者見守り支援ネットワークを構築し、地域ケア会議、巡回相談、見守り声かけなどにより支援を行っている。

○リサイクルの取り組みについて

- (1) 剪定枝リサイクル事業は、破碎機により剪定枝のチップ化によるたい肥化などリサイクルを進めている。
- (2) リサイクルショップを設け、家庭廃食油からリサイクル石鹸づくり、生ごみ減量対策として、たい肥づくりなどを行っている。

石巻市（21日（水）9時～10時30分）

説明【菅原満福祉総務課長、吉田康同主査、日野一典同、庄司勝彦健康推進課長】

○社会福祉施設の苦情解決制度について

- (1) 社会福祉施設の苦情解決制度は、保育所（30）・児童館（1）・放課後児童クラブ（28）・子育て支援センター（4）などの利用者からの苦情に対応しその解決を図っている。
- (2) 苦情解決責任者（主管課長）は、苦情解決調整委員（11名）の立会いや助言を求め解決に努めており、活動実績はこれまでになし。

○老人虐待情報ホットラインについて

- (1) 老人虐待情報ホットラインは平成15年度から始まり、ケアマネジャー、民生委員、介護サ

ービス事業者などが一体となったシステムで対応している。



石巻市会議室において

○石巻健康センターあいプラザ・石巻について

説明【佐藤英之センター長、小野沢明副センター長

フクシ・エンタープライズ 塩田隆博支店長】



あいプラザ・石巻 会議室において

(1)ペアーレ石巻は、施設を市が取得し市民の健康増進施設として、健康増進計画基本理念“一人ひとりの健康づくりをみんなで支えるまちづくり”として運営し成果を上げている。

(2)市が取得する前は、90講座・年間開館日数277日、取得後は健康づくりメニューなどを加え開館日数は354日。

(3)ペアーレ石巻の利用状況は、最多は

平成16年度117千人、19年度94千人、21年度は76千人。

視察研修所感

- (1)介護ボランティア制度については、介護保険制度を利用しない高齢者へのサービス、介護保険利用抑制を図る観点から、浜田市においても導入を検討する必要がある。
- (2)介護予防推進モデル事業を進めるためには、地域包括支援センターがそのカギを握っていることから、浜田市においても地域包括支援センターの機能を充実させる必要がある。
- (3)ラ・ペアーレ浜田について、石巻健康センターあいプラザ・石巻の例を参考としながら、市の健康増進拠点として位置付け、講師陣やメニューの充実により利用者の増を図り、経営の効率化を図る。

(報告書作成者：芦谷英夫)